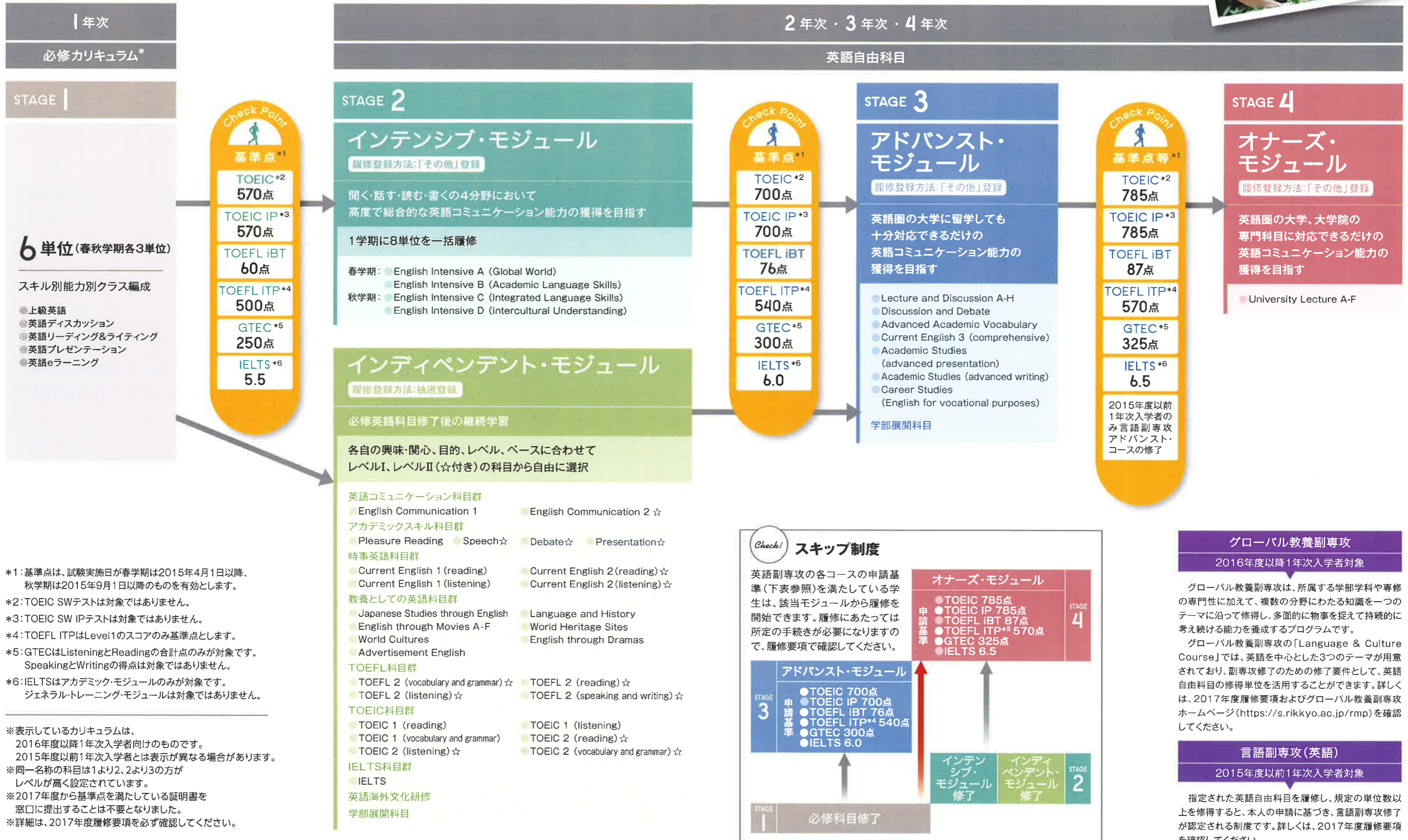


異文化対応能力が身につく 立教の全学共通科目(全カリ)英語自由科目

1年次で基礎となる英語力をしっかりと身につけた後、2年次以降は学生それぞれが目標とする将来像に向かって、ステップアップできるカリキュラムを用意。標準的な英語のコミュニケーション能力から留学など海外で必要とされる高度な英語力まで、一人ひとりが望むレベルに到達できるよう、各自のレベルに沿って学びます。



*1:基準点は、試験実施日が春学期は2015年4月1日以降、秋学期は2015年9月1日以降のものを有効とします。

*2:TOEIC SWテストは対象ではありません。

*3:TOEIC SW IPテストは対象ではありません。

*4:TOEFL ITPはLevel1のスコアのみ基準点とします。

*5:GTECはListeningとReadingの合計点のみが対象です。SpeakingとWritingの得点は対象ではありません。

*6:IELTSはアカデミック・モジュールのみが対象です。ジェネラルトレーニング・モジュールは対象ではありません。

※表示しているカリキュラムは、2016年度以降1年次入学者向けのものです。2015年度以前1年次入学者とは表示が異なる場合があります。

※同一名称の科目は1より2、2より3の方がレベルが高く設定されています。

※2017年度から基準点を満たしている証明書を窓口へ提出することは不要となりました。

※詳細は、2017年度履修要項を必ず確認してください。

グローバル教養副専攻
2016年度以降1年次入学者対象

グローバル教養副専攻は、所属する学部学科や専攻の専門性に加えて、複数の分野にわたる知識を一つのテーマに沿って修得し、多面的に物事を捉えて持続的に考え続ける能力を養成するプログラムです。

グローバル教養副専攻の「Language & Culture Course」では、英語を中心とした3つのテーマが用意されており、副専攻修了のための修了要件として、英語自由科目の修得単位を活用することができます。詳しくは、2017年度履修要項およびグローバル教養副専攻ホームページ(<https://s.rikkyo.ac.jp/rmp/>)を確認してください。

言語副専攻(英語)
2015年度以前1年次入学者対象

指定された英語自由科目を履修し、規定の単位数以上を修得すると、本人の申請に基づき、言語副専攻修了が認定される制度です。詳しくは、2017年度履修要項を確認してください。